



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立平岸西小学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

朝の読書タイム

毎週火・木曜日の朝の活動は、全校一斉で読書に取り組んでいます。

朝読書で読むのは自分で選んだ本が中心であり、継続的な本とのかかわりが心を豊かにしています。

また、今年度は朝読書の時間を使って図書委員による読み聞かせを行いました。学年にあった本を選んでもらいクラス全員で聞くことで、本への興味が深まりました。

りんごっこ読み聞かせの会

「読書が大好き!楽しい!おもしろい!」という思いを育むために、異学年班「りんごっこグループ」で読み聞かせを行いました。上学年は、朝読書の時間を使って読み聞かせ用の本を選び、一生懸命に練習を重ねました。下学年は、読み聞かせを通して本に親しみ、新たな発見を楽しむだけでなく、さらに本のおもしろさに気付いていました。

日常的な本のススメ

日常的に本へ親しんでもらうため、図書委員が多くの企画を行い、本に触れる機会を増やしました。

○季節の棚飾りつけ～季節ごとに、図書委員会のおすすめ本がポップとともに展示されています。

○学年対決～縦割り学年がペアとなり、本を借りた冊数の合計を競いました。

優勝学年には図書委員オリジナルの賞状が贈呈されました。

○シールラリー～本を借りると、一枚のシールがもらえます。そのシールを貼っていくと、どんどんイラストが完成する仕組みです。「イラストを完成させよう!」と、多くの子どもたちが図書館へ通う姿が見られました。



学習センターとしての機能

調べ学習

「民話を紹介しよう」、「ことわざを調べよう」、「興味をもった食べ物について説明する文章を書こう」など、辞書や物語、図鑑を使って調べる学習がたくさんあります。どの学習にも本は欠かせない学習教材となっています。

My 辞書の推進

本校では、3年生以上でMy辞書を推進しています。授業でわからなかった単語をすぐに調べ、語彙力を伸ばすためです。単に単語の意味を調べるだけではなく、ことわざや地図などのイラストも活用しているので、さらに学習に役立っています。

情報センターとしての機能

先生貸出

本校には先生貸出という制度があり、教室に置いておく本として、1学級80冊(1人2冊)を、2週間まで借りることができます。様々なジャンルの本を用意できるので、幅広く情報を得るきっかけとなっています。